日滿不可分を基調に

東亞の安定力たらん

有田外相の外交方針演説

兩洲國外蒙

イギリスに

生\*新\*す

宗散話」第六十九特別擬節に

庶政

\*明\*宣\*

を待つて午前十時十二分近備議長開會を宣し廣田首相を聴く、首相は悠々草稿を携へ演壇 に起つて施政方針を述べる、續いて有田外相の外交方針演説あり、終つて寺内陸相登壇す

いて外相起つ

圏運の進

國防と産

の観をはかるへうると共に更に

在じます、第2章では、10年では

現下の時間は質に

國民生活

紅宮政策に限す いであつて、如 いであつて、如 いであつて、如

機構の散訂すべきは敗一、従つて軍態の推移に

の設立を企興してゐる 庶政の国事に第

思るので

昭和十一年度成入

新し場面であった。 新し場面であいます。 をはするところを減とせられ速に は関を與いられんことを引至する る次額である。 なのであるれんことを引至する次額である。

## 一微動もせず 正端熱す寺内陸相

間的に且徹底

宮の命令なりと信じて反角単に 歴じたとはその父兄に勤しまして 年として 住気とは ではの であります、 逆つてこの 高烈鬼であります、 逆つてこの 原祖鬼明に當りまして は高とこれを滞貧して布令に基く行動との責任の疑惑を明かにして 何も の責任の疑惑を明かにして 行ち いました (本)

ますが、反亂行動にまじ並れる。ことはこれを認めるのであり。ことはこれを認めるのであり、に是止國新之奥するもの多々あに至古國新之東するもの多々あ

してゐる次第であります



\*\*\*\*\*\*\*\*

選進するにあると選が、現場の現状に十分に対し、一致協力一大決という。

下の質症の高め | 阿田町内閣は ※世界は引頭に関烈は近すっや図 | 園田武彦男 (40) 登班 平生文相の初答辯 個田町内閣は ※法學歌園通に關 し去る六十七級官ご 本院より数 「特」の「大田の歌歌・天皇村 「相談会の問題に對こ他司官和は 加切なる資金を存するや、例内 間の敵を踏まれる。 ですうならば既に小孙大臣の他 位に止まるべきでないと考べて るる現在でもその営時以よの信 念をりて衝隊時間に旋して行く 決心だ、外租は終より健審園相 も同様の信念を以て事に置って た影響は蹇に原でであるが事件 顔だの変過などの保知が判然さ

第一矢

田男起

平生文 相 鉄流機の主體 ものと信じてゐる

が、天星にあることは明殿である。これに戻する段武の課題は、これに戻する段武の課題は、これに戻する段武の課題は、あくこれを禁止してあるから教育界に有鑑な人材を作るのであるから教育界に有鑑な人材を作るのであるとが肝寒であると自じて實現に劣めっ様りである。

はないが、既然のことだもの、するごうな、既てカソだとはい を思はねばならない。 総財南景は今後最本的に協力

◇小説「思禿頭巾」本日休被◇ と、蔣は流石にえらいた。と、蔣は流石にえらいる。 石が認識になる赤蛇工作が完成。支那では憲法・家山市、將介

て朝令を以て公里を融票官訓鑑工

制廢止

【東京電話】異例の畏き勅語を賜はり開院式當日より早くも非常な緊張を呈した今議會も漸 、本筋に入る、六日の貴族院本會議は注目の的となり開會前既に傍廳席は大入滿員、杖を ひく鈴木政友會老總裁の姿が一入人目を惹いてゐる、廣田首相以下各閣僚の大臣席に着く 燃立つ・けふの貴院本會議

権國法の尊嚴維持は極めて緊要

語を

慶田首相

の施政演説

顧みれば

制せられるに至

であります、従夢をかつて北城野であります、 の大塚であります。 東京に最近に近くに 対しては最近の新力を押いて 関しては最近の新力を押いて がかった。 がます、この話は、たったがに がます。 がは がないるがまた。 がます。 がまず、 がます。 がな別かた。 と存じます、 にを存じます、 にを存じます、 にをの前部昭和推進頭の条行を主 がなるのまた。 にをいるがあるの。 がないるのまか。 にないるの。 がないるの。 がはないるの。 がないるの。 はないるの。 がないるの。 はないるの。 はないる。 はない。 はな。 はない。 はな

鑑み深く自省自戒

我々は本事件に

+

就ての

上なら

ある極度的支援を減率せしむるめ或は兵役義務者に剥する理解なる兵役義務心に駐豚を抱かし

響によって崇高 もし本事件の影

被祭の指導物源の形には我が園 被なる一部部小者の趣味する 風なる一部部小者の趣味する を見過すればするを選解とする を見過すればするを選解とする があります、作しながら原因 の如何に始らずも本月温泉準の の如何に始らずも本月温泉準の のが一般にからでもませる もつて唯下の重控を書ひ途に答 本の治安を擦露数しましたこと もつて唯下がよざる反乱行為で でいます、先にも甲述べました さいます、先にも甲述べました。

日米兩國の

のである、今後ま ・ 指数多の関連に対した のである、今後ま ・ 指数多の関連に対した を要な他與定等め ・ 対したる気を有するや、前内 ・ は難楽の極興に等め ・ はないりを変したが外相たる気上に破事な経 ・ はないりを変したが外相たる気上に破事な経 ・ はないりを変したが外相たる気上に破事な経 ・ はないりを変したが外相たる気上に破事な経 ・ との変したが外祖たる以上に破事なが ・ との変したが外祖たる以上に破事なが ・ との変したがか相に対しても破事を ・ を変したがの報うなが、との変したが相時代 ・ に対する税りなりや、第三に二月 を及任すまれがあつ ・ とのである、さき領帯 ・ 変にないりを会したが相時代 ・ に対する税りなりや、第三に二月 ・ のである方動を関うたけても破事を か、大足を下の報動 ・ なりである方動を関うたけ、彼の ・ に対する税りなりや、第三に二月 ・ のである方動を関うたけ、で ・ のであるが、 ・ ははれるが自由の所見如何、 ・ に対するが自己を行ることない。 ・ ははれるが自由の所見如何、 ・ に対する方動を関うたけ、で ・ はは神経を充 ・ ははれるが自由の所見如何、 ・ に対するの力動を関うたけ、で ・ ははれるが自由の所見如何。 ・ ははれるが自由の所見如何。 ・ ははれるが自由の所見如何。 ・ ははれるが自由の所見如何。 ・ ははれるが自由の所見如何。 ・ はははれるが自由の所見如何。 ・ ははれるが自由の所見如何。 ・ ははれるが自由の形成がな可能とない。 ・ はははれるが自由ので ・ はははれるが自由のがしない。 ・ ははれるが自由のを ・ ははれるが自由のを ・ ははれるが自由のを ・ はははない。 ・ はははれるが自由のを ・ はない。 ・ ははれるが自由ので ・ はははない。 ・ ははれるが自由のを ・ ははれるが自由のを ・ はない。 ・ はははない。 ・ ははれるが自由のを ・ はない。 ・ はははない。 ・ はない。 ・ はははない。 ・ はない。 ・ はないい。 ・ はない。 ・ はな 石 の熱心なる の熱心なる

果して何時まで高くことやら

かくて同十一時五十分散逸 数のお言葉を深く味はふべきだ 関連今日の隆昌は明治以來の 畏いことだ、朝野和脳文武一 天地玄黃 ٥

破異と作たのて六日左の

| 元日午町十時卅五分| | 承奉天廟生小學|

en de de la company de la c La company de la company d

鮮寫眞聯

後三種をまず毎に一名以西、重輔四合につき一名

したときは翌日の出勤時たよ、公休日に三時間以一ヶ月五日以上輪費公

、精動官・・月間へるものは一割石百圓生では八分

課影期間

昭

(廣告及 宣傳として 價値あ昭和十一年六月二十日迄

、 印書提出 に調する注意 A、用書の大きさはカー、 印書提出 に調する注意 A、用書の大きさは A、用書の大きさは A、用書の大きさは A、用書の大きさは A、用書の大きさは A、用書提出に 関すること 音楽は 「明報の大きさは A、用書を表す。

審查發表, 六月三十日

查員

月間皆動者は五面

給典 十、初任給日給一圓以年何に夏,冬一省宛支給す

雄色語機とし經營者で

商業美術寫眞懸賞募集

最高世銭ら成績を清査し昇給せ、厚給六々月毎に最低ご難からは月四十五間以上です。

参加資格者 全朝鮮(タウト、清涼飲料水(同)

全朝鮮葛漢聯盟に加入音録簿の幽龍員

→ 名以上一願とす)は京城 → 御申込みのこと

七月上旬京城三越にて開催の

工場撮影日

一十四日、三十一日)にはモデル提供

開始町場屋製造工場

H

H H

時径) 中部十時より午後 楽剛 丁目科賞局

**阿阿阿姆温德**哲二磷

蚁-

制部

島第

屋部

サラボロピール常祉部

H

十日の撮影會場

政算しろ月間無事故者は

第三部 サツボロビール株式食社製品でも第二部 嶋屋離造株式食社製品 キャコウミラ第二部 嶋屋離造株式食社製品

(工場及政備等にても差支なし)

部 キリンピール株式會社製品 ヒーキャッポロピール、河原飲料水(同)

により運轉手連の収入は相當額に

大、祖告真撰交通事故等は認念者 原羽後に ペルメル 一、五年以上 同 州朝以上 大塚仁川県県、八日安東へ 一、土年以上 同 六十朝以上 川瀬寨後十日安東( 一、土年以上 同 六十朝以上 川瀬寨後十日安東( 一、北東以上 同 川朝以上 大塚仁川県県 八日安東へ

放等は經営者が削後にペルメル

は百四十四名六日午後六時十分本子加沙器常小学校、岩下寛氏

入城仁川觀察後八日夜安東へ

朝鮮人部落八十一家族中二十八名 依隣に逃れて無地信民に致助を受

文里西方の温服縣部案形に居住の

Tanaka こり ゆを 職主 化砂の 彰氏は、日本 海外 事 諫にこれ 等遺族の 数 週(中・男仕一名) は 実際に 極後き、けてあるが 廊地 仏 簡弱 鮮人 愈にた

グガネハ中村

全朝鮮寫眞聯盟

湯原縣の朝鮮人部落襲はる

れ家園との他を解けれ他の部民は

られてゐたが、京。証道背局ではメ

ーター制と共に

李得相氏ら廿五名 十日午後九 李得相氏ら廿五名 十日午後九 が同夜奉天へ が同夜奉天へ が同夜奉天へ が同夜を でいる 八日午前七脚廿五分入 が同夜を でいる 八日午前七脚廿五分入 時主十五分入城金剛山へ十六日李得相氏ら廿五名 十日午後九

分は高調する、年後は愈よトーナ の報告相撲に引退した大の里も願

を出して、順弦のほけ聲に相撲演

メントの段勝戦が駆けられる

館の「流露をもまじつて午前中早く初日にまづ本祭、新教や天龍銭機

トラ

" 列車衝突

人即死一人重傷す

**\*八分の入り、天龍以下人類方士** 

出して入口でひしめき合つてゐる 小厨には早期から相撲ファンが繰

轉手の優遇

**尿畿道から發表さる** 

日午創十勝五十分内地へ十五「徳島縣生れの胴体大池中上忠修に城公守職業級校七十五名。十一

本町署に御用

關係の側面に衝突トラックは大後 聞より匹越して来たトラックが様 「呂即死、他」名は資はを買ひ棒

廿八名慘殺さる

は5立てて491年は霧した、栗は緑酸し、市内外とも全く麒麟に繰し続け緩りの家々には平常の郷に際ごもなちなほに、指でに三萬のイタリー兵が市内に入り王宮、無電局、停車場その他各要所を悉く占領した。上政バに入城し、 直ちにイ・リー公使舘跡に國旗を立てこゝ に總司令部を移した、 午後十時まいに入城し、 直ちにイ・リー 公使舘跡に國旗を立てこゝ に總司令部を移した、 午後十時まに17五日2週 東阿遠征イタリー軍總司令官バトリオ將軍は五日午後六時自動車でアヂザベ

伊軍堂々とん

バ将軍三萬の軍を率る

王宮及要所を占領

きに至った。よッソリーニ首相の質賞はラギオを通じて全國に放逐。向ったのは歌く八時、その間しば~~民衆の數等に中立するの已な

エチオピア首都に

相は筆足の如く午後七時四十五分ベネチュア宮バルコニーに養を現大公仲前の繁何に輩るなど観々しい光気を盛した、ムタソリーニ首 はし、十分間は民衆の歌呼の難に只立在生するほかなく、マイクに

慶既を打張り軍数を歌ひ・敷百の警官はイギリスを始め各制盗國の魔場は数十萬の民衆で立能の除地なく戦勝の武呼に陶酔した市民は

はこれとともに置どつき、ファシスト際はは太鼓を唱して動鼠召集

に當つた、國家認動競争能作十五分の後、首相官取ガエネテュア官

イタリー(1827年) 「関西に一当」し又全世界がに当した余は全イタリー 関西にに当りしてふるが、今日はまさての最本級がに関いるのでは、イタリーはなるのでは、「一年に国る歴史においてイタリーは変多の方字で、き機管に選返してふるが、今日はまさにその最本級がに関いるという。

され、この日首相の演説を聞かんと各地の版場に集まったものは二 干部人に及んだと額せられてゐる。ムッソリーニ首相の複説整百左 平和、我等の平和はローロッパの平和なのだ余は更につけ加へなければならぬ は緊骶と誇りなきを得ない。 戦争は終了したと宣言する。

ないと思ばれる。何れの爾と雖も今更これら裔後を惡り立でる碟、エチオピア側は今日情機等にこれる奇種とも最早全く第のに様へのもとに平利裡に序語し日本の等に服する宮の街場を明かにしたのもと、平利裡に序語してあた會長の多くはイタリーニ色族のフィニチオピア王宮に襲してあた會長の多くはイタリーニ色族

▲茂吃會鮮福剛等開翔口獨發氏ら──分人城同夜本深湖へ「十一名」十二日午前七膳四十五日夕湯城

エチオピアはイメリーのものだ

- 第五龍に労働者に全イタリー圏民を代表して表心感謝の認定を育する余はこの機會において東國職線に生命を賭した。 我を育する余はこの機會において東國職線に生命を賭した。 我心を確保するに書つて既に一大決意をもつて断乎防衛するの

らゆる旁力を拂ふ言葉前し今日子は去る十月二日ニテオピア跳なことは考へないであらう 我等はこの輝かしき勝利を…… 続鍵信して延はないものである…… **新し今日に至るもこの誓約を建守し来つたオピア職事を欧洲 城事たらしめないためあ** 

分譜演士橋光太郎▲八時吹游區(東)觀谷梁▲七時三〇 講座(東)觀谷梁▲七時三〇 八時兄童劇策大門小學校兒

歷史

崇樂と軍歌(東)陸軍月山皇

製薬の **烈の** 

C

国部に入城したとの公電に貸した イタリー軍は途に五日午後四時頃 ドの正郊に到著して待機中なりし

ものといつてゐる

きの不良でギャング映画を選似た

11年前三時指編編町一1三金四

御客

客樣各位 第一个

京城

府 民

舘

食

堂

老衰の豫防

ホルモンも結構ですが。 常に通じを整へて身体の 常に通じを整へて身体の 常に通じを整へて身体の

離解に際し御挨

削は

朝道じ

Ī.

錠

毒をのむ女

一日丈け休まして頂きまで高食堂従業員慰安の爲めい。

り(明七日)

たいめ出足が纏つてある折頼いた。 月下郷道局申込みのものは約計版

き一のぞみ一が少里が、標果間の「面影上軍職業等」で、助手鉤面平里「五日午後、一時五十七分ころ奪犬の「貧里竜病戦氏所有で、運動手は風 あるからあの山まで楽いっと裏山組の少年が現れっおい一寸相談が 行題率海路(こが聞宅の途中本 並の職定をしてゐると、突如三人 所要称式門前連動場の「躍で賣上 連れ込みを今勘定してるた野上 少七時田京城花洞町三八果物

**森州河道館のを理画の駅が重視方。村主第二二で加光、開発してみた「後のて所得点「囲五十二銭に価値をき」のそう。カけ黒崎、楊康僧は「西書『王原王慶』』、前等「編館耳里」とてるな。とませれを映ませ信に** めて加山器に引き返した。この高 は京城阿健町洪命祚さんの

高城に江入道協から飛び込まうと 派な命さんは最初の約束は 高齢の爺さん。この妾となった のの、最近第三会に狂び出した感 ならしてやらら……などと、 待つと! 六日午前一時節

七日ヨリ十二日マデ

滿

夫子夫

順位君(ど)で父に叱られたため

全版天氣豫報了

詞右 間右 盤

仁川地方 時隔[明日] 「今晩」は髭し

金剛山には また雪 荷上黃海江縣建郡吳山面四歲里外

ある時、 將來は文化住宅も建てて を案人が誘見手當したが生命情

やらう、何んでも君の欲するもの 一年前妓生としてちゃほやされて

山間さした金剛山の採勘答は

題言しく贈り響く、六日から京城 された被害。着は神戸稲間の置産50

月の青年を衝いてやぐら太鼓が「と調内忠賛」。」は護山詐欺で機能

大角力始ま

蓋あけの脳西大相撲、地町の掛け、家連で側がは五千崎側に達してる

君が強盗と叫いや・生意調なまれ

京城地方 は今晩」は盛り 同右

を引き 今- 東京で 評判の美味



各食料品店酒店にあり



度四最低十一度五(六日)正午点城温度 (五日)最高二十四 

京城では左記により商業美術富真の撮影會や開催しますから多數興寒加願ひます 提彩管理など関でいます。 キリンピール會社第一四部 まで要思郷公園で

皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晋 京城黃金町入口 日本生命塞 歷史 MITAMBSA SERVICE

湖子と鏡に関する一切 カラスヤミタマサ 三田政商店 百城 太町二丁目 *ከባሀባ'* 星

みやがにツルチュク書ったが大喜び

社

|工連内撮影の際は正門受行にて食月童提示の事▲親日健康の際は京城日職新上にて発表す。|| 十二||日|| 比臺州蓮華成局連貫工事で撮影の便宜がありますからお出で下さい。| 日(土)井三日(土)卅日(土)サッポロビール賣紅原にキリンピール會紅の永育浦 **奨忠壇事務所の上方及び博文寺下の資大庵後庭** 

『ロンドン五日電池』 イギリス歌 首都に入城 伊軍は遂に

対営局はエテオピア首都アギザベ

二金太田へら外二名で何れる批社 肥何する三人連れの少年がピンと

青山

配置接入とロル

マヨホーズ

カタロゲ星

がラスヤミタッサ 明治三十一等 三田政商店 **京城 本町 = 丁目** 

六日懇願にあたる版内顧里一一八 加した、左任李任平原江西都建版「子人に實施すべく記録中である版鑑市協師理官教士に住作年十二月 三月手配して出本歌事建設主意地「木の混合リクチン連飾を称「恵五れた――平鵬府上水口里一八六電 ることをこの密平「製成在機加し」し六月中には避テフス及バラチフれた――平鵬府上水口里一八六電 ることをこの密平「製成在機加し」し六月中には避テフス及バラチフ

た――平郷府上水口里一八大電 ることをこの歴中「鬱殿が機知し」した月中には続チフス及バラチフンチリ部駅線人が天戦で懸弾さ 低した金により人組度を登んでる「五月中に魏に五子名に祗蔵を聴行ンチリ部駅線人が天戦 **を財置し五千七百圓をせしめた。るがその後担重により天津で誤議一的八千名に餓鼠を施行して来た外** 

家心中を企てた廢人 哀れ重傷を負はせて泣く

自首

歌詞へたところ意外な所にモルヒ

一匁を隠匿してみるのを観見

東半照の印鑑と府顧の艱難を修造。面新言里の生れで平局層類の明身 | に昨年中に於ける邑内縣建設龍生

**【華鸛】金に割したはて他人の印。取し行方を順ましてゐたものであ | も勝チフス思考と判明。三月以來** 

インテリ犯人就縛

悠々と商賣營む

天津で人絹商に早變りした

大金詐取して逃晦

厳の領古加雄といる音楽が概算組入としてこれも二十一

日を替つてゐる

# 瓜二つの青年二人

しかも互ひにつゆ知らず裁きの日を待つ

## "双生兒」の犯罪綺談

は内心臓からずこの散奇な過館の一致し坑大を脅跡、棚田作業に彼事・八人はけたが醴にとりすがつて泣。死一名資源二名を住じた「埋御郎に来てみる詩」との答案は「慰から歌談教長、松計法主任等出」は遺族連が脚にぬれた瓢を纏め虞。な住この駆跡では頭影園軍には兄弟はないかと訳ねてみれ。からは西田所長、高保校師等懇談」した結果、賦十一時二十分繁元體、講演単に改職されて體十四間には兄弟はないかと訳ねてみれ。からは西田所長、高保校師等懇談」した結果、賦十一時二十分繁元體、講演単に改職され気體十四間

二十一歳の青年があつた。

麟東軍に攻撃され死體十四箇、 交戦時態、死體一節を選撃して澄 門立で通い駐車第二統第七班及び 暦百五十名は二日午前十時ころ同 ら面に激退された紅重程前令の 2紅維揚可令と王原語の合體語が した、また通心際北部に潜譲す は担に緊急系隊のため同際見

第の三葉茂山盛 の常日をいし用郷田常島竹僧を歴 お校二百名を照示・観察に終り、田田の三葉の山産の常日をいし用郷田常島竹僧を歴 お校二百名を照示・観察に送り、 山谷 紫海館 上端で去る三日英山神仏寺を歴 お校二百名を照示・観察に終り、

と操觚を開始すること~なり開動。 膵神(軌)で南端が街景を行ひ、前十一上市子削隊長の祝鮮、祝電漫覧、由は電流下環勘算の渡に襲って愈 大に懸行した、當日は先づ午期十一左脳(地)で表小艇商工機制資長龍に 翼の地元茂山では面及び商工鹽の「紫暗半から聖校を感に設けられた」「膏砒朝を退點に銀山事務所まで」大量である **導腕も繋込むことになったので歌 の懇望で高潔を三短解徴し、午後 なほこの日孫與として夜山町に遷嫁暮、總前郎・総宅都謎の下 後に聖重學校を膝に集会、将部守 (東川重のため馬潔彦三端藤朝)** 

内田所長の襲撃でそれと、郷田と一日日調査を實施し

全市歓喜に弾く

の終死の既後により満く下火に回 五日初郷以來一邀、二道の各面に 【殷製】郡内の庭道は去る三月上

らないことで、この紹介後とも 牡彤江部田陶住する皆は第一斉位の御力に使たねばな」と温来に一般し、七日の武衆に降へ、また徹底さすこと。 温楽に一般し、七日の武秀)、建陶程神の本義を一般。近常も出寒、流戦を駆

恐怖の股果

漣川の火事

## 短~猖獗

治、六日午町五牌五十二分 【選川】去る二日午後署曜二十分

顛落女性の

モヒに華やかな過去夢みて 密輸中移動班の炯眼に捕る 年增城生に浮世佗し

在中質家に逃げ躍り右の次第を無 据へかねた悪女は去る二日夫のろ ついけ状ひを状めて大聲を と庶刀を突き付けて設すぞ

忠北辭令[離]

てこ肥る、早くも口の思いのが 関節丸ナ協會理事、冬服を召し 語の名人、海早や中でも氏は人も知る · 2. 7.0 ものでパナマ帽に **塔世、邓卿石里**。 是、五日前防豚 いへば元郎南世芸 器に音馴染で出

「やうやく否が他つて優が失いた

やくつで弱れをさそつであた

紅匪を退治

困つて詐欺

代の不妨末からで撤居は約四十回 烈役一年半

等

桐籐

型

椅

子壹

也百

のでつい思心を起し子裏定ながない 以事性の公割は去る四日法院支部 引渡しを受けこれを直ちに翌知、即商を難いて商品三十五百餘間の 「定州」商数には失敗し端州に修 五館の上間は、事質器項に際し被 川は料理貨商が島間に動する部 洲へ極端びした定州西島山面流 一號法廷で小川級甲長係提齢車

盟通不定量人礼は三<u>個六十五年</u> 鰮川一人札 【**収異】五**月

參

警

呈進くなれ洩品景

抽籤其他 優待期日

紬

松

浦

南店香 胜

大品

阪部

1.11

ドバツク手帳一冊宛洩れなく護皇の品一箇御買上毎に絹表紙優美ハンビタオール整髪料各製品五拾錢以上

を謹呈致します更に同封の抽籤券により左記大賞品

武等トモ御希望ノ品一點ヲ御自由ニ撰定) 愛用者優待方法 (男物、又八女物并仰自由二撰定)染浴 衣地 壹 反 全國日刊新聞紙上二發唱和拾畫年八月中旬抽 昭和拾養年七月末日起 七百五拾名樣 蓄音 草ッ 名 名 形ン機笥ト 樣 壹 壹壹壹壹壹 壹壹壹五壹 臺臺揃帖組 個臺臺本組 表徵

還

等

Ē

フリ

Ξ

タブ 小

7

して強症銀行不振支配より土地と 議門所を必要し昭和七年四月まで 数は獅子フス、バラテッスを撃頭 **歴を迅電として五千七百個を許 間板の助手をしてゐたものである。に九十七名の多数に上つてゐる** 坑夫の

種痘と豫防注射で 防疫陣强化に躍起

「蘇津」一時に三名の尾極 図者を一定され、 養装常局では重大説し二 日以来協属的日口調査を確認中で

今度はチフス

短嗣の羅律に

順人高些銀(゚メ゚)がパラチッスと診|あるが更に表町飲食店金属見(゚ピ) 避は病夫六名の生命を難つたが、遊航のガス繁鬱について天井の崩

死體搬出 三神洞炭坑

平田大同語 常知面機能無数域三軸 ルコール中部にかより、かてよ風

【幸雄】 熊栗――五百年前澤時頃 | てるる金大一年』は歌年前からて | の苦しみを動つためにと恋い恩情 雪ともいべるその道理にこれはま一切れる関もなく派よやうな赤灰の一しかし震臥に力も失せた身で一點。樹となつてゐた原女が再び越てなれば著は音にかりで籍前書のない一の超極で都る収入で大世帯を遊ひ一径つて先す狐の喧噪元を刺した。 うとみられてゐる、なほ一家の支 家庭記録……府内巴町三に居住し た繰りにも協ましい人生ドン版の へて病魔に見郷は北身屋の自由を 床からこれを見るに思びず寒や子

を定めかなは以身で出小胆丁を順 き二日仮選に餅を買はせて家原源一般所統へ選ばれ手當を受けてゐる 日満の固

ドン底に陥つてゐたが金大一は病 ひにその目的を選することが出来 して出た、刺された寒は直ちに纏の手を溶伸べること、なつてゐるく人大和町の水上低出所に自首。で清郷紫人寡組織部では違い数ひ す子浜等に泣き叫ばれて心臓り並 日の食事にも窮する状態にあるの

【清波】響のない。道部であってみ一人の制口を支へてゐた、しかし女」しくこれを食べ順夜腫師まるのを一が期る重瞳で恐らく一節は危から いこととなればこの一家は彩も明

の中に華かな生活を送ったが浴る 時は遊客間に楽瞬しき人気あり歌

もので組締束なも同日瞬前派出所 倉庫を破り

の二代を自供したが熊卵ある島込 然で行動を注意してみたが、歴史 九日朝起訴紛撃となり、その後警 20日記は閉籤罪で透局され二月十 の顔々たる学派わらひから三日間 [2] B B內本町四〇勞團省李泉

東満視察の憑司法部大臣

延吉を訪れて抱負を語る

縛り上げて 至身を刺 姑の告げ口を真にうけ

と去る三月末當時下宿してるた断。口したゝめ披如深い金は烈火の如

ないから不能を来すことにない、と去る三月和宮時下徹してるた所、口したゝめ族が篩い金は拠火の如め、中がと続ける場合に、この春から城がして、常やか世に満れて、たい、江東中世語になった着を述べよう。間に如何にも馳戚がある縁に告げる。一年がては判様が見て戦い。この長郎古政では、世紀名―は親校、総つて来た見子の金に張なと皇の春での男所問題は現在したい。この長郎古政では、世紀名―は親校、総つて来た見子の金に張なと皇の帝、でかして対様が見下機の一人の妻といれている。

接着公司、國民院、守備院、原母分割、要領司令事を配がし、記書・野田司令事を配がし、記書・原母

川岸省大・松下郷砂断長を始め、 語に対容・禁師員の意成語に表 | 新宮を出路・洞午町十時返音派 随言特電」張司法部大臣は木村

職が酸料の出理へを受け

るようのであるのである。

大學、開城潢月台

+

里! 色を強つた後に水の失望と音 朝八つ戦、星んべ、戦など間です

というでくをはいとしい。 と縁のもつ美しさを少しでも出ししたがどれ、ぬたなものはありま ませんので、只能顔で美しい色調

が入り度、夏 (く) 鏡など 臓ぎ主 「話では、その災しさの半分も描げ合年は人命」○○號、入○號、郡」て頂きましたが弘のそうな下手な

モデルには数生の美しい方になっ

へない美しい調度を一つ二つ

**峯崎晴子さん** 

レ九十回、早く三階へ御案内しな<sub>|</sub>

三階へ上がる。

「アラ何極かへお出でなさいます

一田 シみ子"

H

語る

せんので人選出来すかどうかわ

たいと言むした種もです。その人

提出来きせんので今年は例年に比

度 物を一點出版でなりますと目能の不 第2を受けて居りますが、私は松崎光 第4年にのままが、本年に前 第4年に対して日かられます。私は松崎光 のでは、1000年の不 1000年の不 1000年の 1000年の

のなんのと…。

イヤ御義一方の九十郎、強つた

『どうも困つたナ、急に生死の師、『左襟でござるかナ』

私は女与校と家事に追ばれて思い

西岡熈枝さん

無量の最高端駐鹿めざして輸入作家の高速は

特に第一級を行く人々の総心さばまた格別で

例年めざましい趣境の開発作家の中

篡度上から碌崎(右)西岡(左)沿崎、山田さんある、次の四人は半島女流湍近の関尾たちだ

|最||高||塔||め

0/ 1/0

心して年をとつし行きます。 を迷び上版年度年同じことを練 ロいトアルに向った海の歌歌と 松崎喜美さん 9分級説はと云「は結局は鑑散者」大趣に於ては大師小真でありまし、べた通りである。そこで結核に耀」の健康法が初かせいれて居るが、

新鮮しい

自然の展覧に浴すること

は楽するものでないことは明に述 ります、単数に抗力さい回じれば て置くことが最も大切なことであ

以上述べた様な理由から近年色々

健康増進の方法

■原の第一要性は限令酸が使入つ| 迎の方法即も能を丈夫にする方法|

て、その中で金も要らず大か歌い

通りであります。 最も効果のある方法は、大體文の 手数もかといずして誰にでもでき

**須分を囲かに心を平和に保つ** 

まづ體の下地をつ

結核豫防の

秘訣

觀は身

毒

表發會協防豫

いも之に打勝つだけの機力を作つ

より他にないと云ふことになるの

死神の

使

有傷にうより

にご用心なさん啖つ

連せ作火

いいというでは、大いのでは、このを、多川原くにを







くことが重大に考べられてゐます もので、こんな風に敷の識つて行

留地で多を過した六百人のロシア 北極の航路に沿ふ七十七ヶ所の居

自分たちの仕事をやつとすました。れました、その都蘇の中でどんと一高商生(竹添町二の一〇〇大西) 人は消象の状態を破策する冬季の一石地がオクラホマの地底に避脱さ ホワイト・シーから大年洋に至る | で風で塵ばれたのでした、何干と 穴ロシア・ 北極洋航路 ☆アメリカ…都簡に湧き出る石油 い。温が甲板に落ちました 火のために地上から遺はれ海にま

のやうな国では馬は大変役に立つ いのです。非常に置々したロシア ロシアの馬の敷は千太百萬頭より くなってゐます。その總数は二 ・前の總數の七分の三に過ぎな シドニイとメルボーンの間の循序 文オーストラリア…海上に懸壁の 石の近くです

でも御採用下さい。京城東井町二 厳身能問題にして如何なる仕事に (丁子屋馬粉銀等) ▲高小卒廿二

大きな新しい自然の個の生活を保 ではジョージ陛下の名前をつけた **馬來半島のパーングのチニルアイ** 沿用のハンガローを建てようと る公園を訪れる人々のために 今四インド語島……西観栽培地を を石曲で吹きかけてゐるのです の石山電出孔は實際この州の首都 **断腎出重都が壁の外壁を低はねばん石。脚が行はれてゐるので良い** いゝがと心配されてみます。

漢據大阪佐江 京 江州建行寶原 行

是日日日安日日

呎もあり、淵窟の多い大きな石成 | 島で能り器山窟之て来ました。こ 強い元子ので栽培者は山羊を迫ひ れらの山羊は砂糖栽培地の若枝を 山羊が西インド諸島のヴアーラン

据はうと習むしてゐます どうぞ、二階へ

問野金布門9

中 一脚

この間も飲へた通り

月青

日日

讀声源

#### ▲シェバードが迷ひ込んでるます

遭ひました。これらの誘駆は酸の

から六里神の汽船は蟋蟀の大排に

が産れましたので監衣を一つ鋭つ 質は神崎県五郎がニャノへ笑ひな 「質は全度」は、の兄の家で女の子 「御用と仰つしゃるのは、なんで お態に間はれて香頭の風失衡、

思義のためとて少しも既は以。

撤助の矢田五郎左衛門は歩きな

即も……線拾ひに困たが、これも 失頭右衛門七もほじて勝利集め、 順門の撤助を供に連れて店を出で

**美ひながら異五郎は矢田五郎左** 

題はお互びに特に心情で聞くべき 止し得るのでありますから、此の 早期診斷と早期

> 際に置いてあるのですが、チョッ いくれる潜がありません、マア大

「左横、兄貴の大高子葉は並人だ

ければバッが悪い、丸十郎には弱

消影響であ

一部に行く先もないが、はつされ

代化料数の

『神崎氏これから何處へ参う』

て近らうと思うのですが、御存じ

殊に右の中でも特に第一に最も重 きを置くとが必要であると思ひま ては治癒り易い病気であること るものでないことと、見方によつ 結核は伝統力さへ個ければ簡単す 療養の必要 トーつ見立て、下さいませんか、

せて、原因せず、不平を抱かで働く 最も大きな影響があるからであり、それは心の浮ち方が微略上に 時も聞かな深分で暮す人ばかりで 後澤が取占人に既いて制造したと ます、近い例は心配の多い時は面 立然も戦巡し長く掛けば皇龍が著一 しく衰へることはよく知られてる 日が近日くなり、呼吸も遠くなり か、何れも何理にも 感ら見込があるこ は顔に述べた通りであります。 す、今この一例を経げて見ますれ 縦もとれを示して唇ものでありま それは多くの食師の細胞すると に旅遊に努むれば大部分は充分治 すが、連張く際葉しても早い時間 して海くことが必要であります。 を勢の中には迅流力が弱くして

● 就南浦,安東行 ● 就南浦,安東行 ● 京 選 行 四月廿七日 昭 光 四月廿七日 昭 光

二編并允 群山寄港二天寶丸 群山寄港

●これこそ最も

新らしい魅力

●ビチ~と元

的新化粧料で をもつた近代

されてゐるの 代女性に愛好

も當然です

**人阪商船縣出帆** 

意け高には長郡を保つた例はない

を抱き勝ちな人・勝くことを嫌ふ

五、禁飲器金を領み胃腐を丈夫に

不足を避けて腱膜を充分にする

起臥の時間を守り後更かし歴

一般の運動によりて心も間も

六、歯の衛生を置んに食物はなる

その中に深い。原理のあるとを悟らた平凡なことの様でありますが、 等でありまして、何れも割りきつ 七、住宅は明るく浩潔にすること

く、その人の境遇や生れつきの領

質によることではありますが、

なければよっていのであります。「も子楽つい誰や、修経によつて郷」しても、早く は多少語大に進るところはあると となってるます、勿論之等の報告 表すればその大部 分は治癒す

早ければそ が良好であ WATE OF ることを示 でなければ配りません、どうぞお しで、毎日勝糯塩へ出掛けて夕方

れだけ成職に備ひなくお上がりなすつて御陛下 すらのであるが、彩記させて願きます」 持備の中に入れてあるから出して お目に懸けるが宜い……それから へ御案内しておくね。反動はソレ

『わたしに触るかどうか知れませ』『あなたお一人の所へ上がつて よろしらございますか 一へエー、宜しいこともありませ

『アノ何と仰つしやつて』

施は米派町まで用途しに行つてく

おまへは他と一緒に行つてくれ、 るからナ、留守を頼むよ、極助や

は部利を集めて来ナ、それでは

脚りに買物があるから、七やおま」ことを云つて居る。 やがて九十郎は跡壁一番、 関重な時間をお互ひに下らなり

やうな、怖いやうな、妙な気は 「二融へお上がり下さい」 お艶は嬉しいやうな、

して居たが、漸く口を聞いて

COPOLIS N

話に残された九十郎、モグノ



タカラモ



タンゴドーランは只一 は、自物とクリームと に化粧崩れしたいス 等に化粧崩れしたいス ビーデーな理想的化粧 ドイヤーでであります。

(京南-武大) 查詢勘定坐寄字 社会实法 越水。

明亚钾鉛無所聽試生術省務內

品妹姉 (色七) 白初の欠點を完全になくした理想品

形タンコドーラン

全國百貨店・職局・化粧品店にあり

對局者の

言葉

永招待の

赤坂小梅一行入城

七、八兩夜府民館で 日極七時四十分貞虚養列車で人大邸で断然人氣を関しながら五人類師の死亡器「さんは等山、ん舞師の死亡器」さんは等山、小條さんや、エンスの偏蒙子さ

宮川四子 坂舎武 梁貫小仙坪内美子 少林十九二 水島 奥太岩 と若夫婦

風森の石

痛

監督

大人工十銭基生三十銭角一)大人工十銭基生三十銭角一)大人工十銭基生三十銭角一十八銭を開び込み

銀を喰ひ損

ねた京電

程度も

中山李寶阜保守校院

觀

は

0

1

服 用



しい のそり 擦らいで さ のそりと歯を

0 % 0 3 N \$

制限時間各八時間) and 新大

99

映響檢閱四報 (四四)

/トーキー漫画へ夏の明一原は晴れて 一原は晴れて

雄水晶光代の道この道

新山五郎正宗 《原之助 西井榮子·清川生 《原之助 西井榮子·清川生 《原之助 西井榮子·清川生 《原之助 西井榮子·清川生 《明之助 西井榮子·清川生

全日本版

下参持御へ場會を分錢焓五圓壹紙裝外のトーレコヨチクルミ永森の附添

民舘

五月七

、兩目午後七時

doringa Lincolati

山江

70人ピア高島 浮 巻 み ほんとにそ う な ら 男

ħ の<sup>事</sup>が

湖 地 保 へ こます

ば名た

肺家の中でも、體一

社會式株菓製汞森 催主





便 五十段 ディートにあ 本十段 ディートにあ の票店舎

-

げませう…が つさと磨き上 スモカの發順

賃五十億定りあに店獲品**粧化草煙** 

岩里天然堂

是交出十円 (2) 是用五円 (2) 是用二円

**圖鄉** 

色則漫画大レビュー館

小部光の連定数

…素晴しく面白い名が高ばかり

文壇の名將 川口松太郎 - 上土大力作篇 - 上土大力作篇 - 上土大力作篇 - 大土大力作篇 - 大土大の熊郎、殿人の駅の修念と - 東・泉場産・本で歌地を楽立 - 大工大阪町、駅人の駅の修念と - 東・東山 - 大工大阪町、駅上の町の第2と - 東山 - 大工大阪町、乗してうまく頭 - 大工大阪町、乗してうまく頭

質明

小説街の姫君(菊池)

難信夫の常吉歸岬

小說的計橫河原等

めぐつて観の異は敵と群まり波瀾また波瀾。からつて観の異なるとかに最よいなれのまたぎ、仏弘治をひそかに選よいなれのまたぎ、仏弘治の弘治をかたので、仏武治をひそかに選ぶといる。

I

村武羅夫先生の

**多正影品的**景觀

落語 人學式論(標為

小説意地、張り地蔵子母

が 説坊 ちん 重役 中野 小傳奇公貝

便五十錢(醫)深順大日本維辯會講談配(認識)

態めてゐたが、いより〈昭和十一 る馬山志に對しかねて敗修計趙を鑑水港、産業朝鮮の中樞部門を提 加助線と見られる総置線の観者監 配質折では日韓連絡のギーボイン

> らくしと進度してゐる複様である 木部長が月下東上、内班、大藝師

中央との

豫算折衝順調に進む

る機能である

船舶が築に横省け出來る大機機

し、關密線の補助線として日南醫・水港には防彼堤を境象

議會後總辭職

ロー内閣は

算は大陸一千五百萬國児當であつ

五日夜半に重り緊急開闢を開催して、リ六日市温」フランス政府は

べ歳村は出る

結果、トルコ戦府のダーダヤルスなった。

西国を中心とする肺値の國際機能

を來る通常融資に提出することと

に於て酸開され、ゼーゼネルス・ 三りユーコースラーガイア外務省

> に願しば誰せる買入金融技を現行 入法に配り政府が日銀の金買入れ

即十一時半今期報館會期延長に關 門十一時半今期報館會期延長に關

その野野左の通り

する決議案を架職院に提出した。

独庭長の手續きをとるべし

税制整理の

協商國理事間は五世午前午後に

國理事會

【東京電話】日飯の企買入價配の

か、六日大田大使よりの外務省者 原業交渉の<br />
威行は<br />
注目されて<br />
みる を目前に最後の設際に入った日本

・極東心長と五日の倉見に於て

ルカン協商

法改正法律案

日銀の金買入

の新用風に対域する方動につき協

フラン低原関モの信息選続後

中樞院参議の大半

八月で任期滿了

殆んど現参議再選か

後バコエ機相は記者際に動し左 決定するに至らず散費した、 決定するに至らす酸酸した、酸酸した、酸

首相は来る二十一日議會「七大半が田地震」となるので、月

上當分延期ガソリン値

「東京電話」或府は六日午即九時

民族の不會議場會に先立ち

臨時院內閣議

動向を示す

ないかと見られ、右浜説はかくる方派民部度の離立にすくむのでは

期间をほのめかしたものとして著

中階紀参編は来る大月二日を以つ

低能手伝きをとることくなつてる

下本所で後任整議を強適中で近て

るが、現在の挑趾は地方参談一名

石山谷

は六日日石本部に幽巌蘭

は六日午後三時在城外人、賈莱お茶の合田中養務局長夫

を見るまで産期であことに「後、間夫人によって別に行はれば、上げ實施を何等かの間、だに領華園の獲券費は近心整務の結果、東際ナゼリよりには得してお茶の書を無いた問題の結果、東際ナゼリと、原政節夫人五十名を順幹を開始の指表、東欧市大人五十名を順幹を開始の場合によりません。

の財政院は、馬道戦相の養殖祭。直接の不均衡を打印するとが武師・「東京電話」六日の家舗院本資融」でて財源の調整を聞ると共に園田

戦革の版本方針なりと戦闘せるとが意動

【東京電話】政府は六日配内閣議

昭和十一年勅令第十八號承諾

てある

組合法中政正法

二法律案提出决定

注目される藏相演説

ツ細上げ反対連動型液に難し内地(東京電話)自動車業者のガソリ

臨時院内組織を開いた

釜山 麗水 馬山三港

## せねばならぬ 國庫收入の増加をはかることが必要

#### 院に於る馬場滅相 であり こゝにおいて選に約 下、對する歳入計量を掲立し、も 下、對する歳入計量を掲立し、も で、対する歳入計量を掲立し、も で、対する歳入計量を掲立し、も で、対する歳入計量を掲立し、も で、も 0)

塩酸目の財政前記左の如し東京電話】六日紫龍院における

昭和 十一年度運跃伝管副 で、選供の機能に違う例中で 要を順行せられることとなったの の関放立後目な仕簿

的改革を行ひ、又専

租税制度の根本

2行政原並に追加政政の合計

人組織公債は五億一

今日の非常

不可能となるのみな 将來蔵出の減少を豫

針曲に外交方針面説を露したる後

臨時理事會を開き協議の結果、交」総成出記とに関する関語を全部が一条に関して多人、企業成することに決定した、なけるべき無路を直接して多人、自然成することに決定した、なけるべき無路を直接し、正分利、関係語学の一六日・引起き問題される語「五分利」の三字を除き、今後軍

極楽説することに決定した、なは

H

時を加へもつて曖昧收入の 等につき 周到なる檢 地方財政は議計収支の均 置その他官業收入並 各種 特別會計收支

は異常の緊張雄に午後一時二十分 の段族院に於けると同様の施政方一 【東京汽話】六日の梁巌院本僧部 | 陳葬前に追加豫第の内容につき城 | 族院に於て述べたと同様の説明を 近出当相及有出外相は午前中

即ち な必要とするのである

公定 割歩合の引下げた

一般所は金融

策を考究中であるが中小で、政府に於ても目下こ

高工 銀合中央金融を設置 かることとし、これに必要なるし、この方面の金融の面滑をは

内外 市場を維持開手

いては今後とも資本

質問を展開

高替 相城の動権を防止

政府はこの際形態や園園 皮肉まじり

富田議職長、二月事件につ一民職就より「我々を馬座にしては

質問者を描く

と答照し、思揚緩相、有田外相は 事件以後は已むを得ない事情にある

潮內相意識機関に對し ら後到語明する
もで匿らぬ、その事情は弾祖から後到語明する

である。二月

廣田首相

戒臓令は只

「香脈!」と従されても立たず、

と小山氏の原解を求め、客願のた

濱田國松氏

第二陣の濱田國松

氏

衆を携へ 他居本府帝 諸軍部前官 の政定、特別談會に提示される事 なる職業は

劉覇などに関し質問するとが勝軍問題、文明氏(政友)が勝軍問題、文学

練居事務官東上

協議令 一、國有財產法 一、

で、同有財産法

ものか、廣田首相は陸相の意向以なら陸軍の離軍も實行出來ね

林法相

を承知した上で開催に表明した

問題は間心の一て居る、裁判所については目下



性の叛亂即隊の趣意財を引用しつ

寺內陸相

たのは破壊を要ないたのは破壊を要なに起つ関取の

◆山中德山燃料廠長 六日何入埔

は四々懲政の理立、談督

院法敗正を可決して居る

平生文相

種々の方法を考かるための数學

◇時實本社社長

六日午後三時夏

◆白石整務局事形官 駅七日午後三時二十分京場際着 駅本より儲

第一陣を承つて小山氏起つ

を要求

し関列

我國資本主義是正の要命に分

潮的相

中で敗正すべき點があれば敗正中で敗正すべき點があれば敗正

| 三紫藍) 寛木精| (昭和) 原上支がては山道県 (民政) 北市吉 (第

密會

【東京電話】楽韻院の確当関級に

○ 競を継ぎ、優廉の日息を延期し願い 内 つて實際を打引り、午後五時砂部 内 こので質問を打引り、午後五時砂部 の こので質問を打引り、午後五時砂部

夕刊後の市况

一不不不 安壁壁艇

生八

糧

**以大河域、七日大連帝國驗道人城天河域、七日大連帝國驗道** 

可以及全个国

+

終るず、通告順により質問の第一なし、之れを以て関が大臣の演説 小山松壽氏(民政)養理

る苦心にも抱らす、國民多數に

と異女仮説を試みれば「無取らず 々に力をこめながら即揺たつより 府の財政風楽の技本方針を一句さ

橋敷なる思想が軍隊内部

有田外相

の確立に関しては領

―一等内陸相の各解があった

風地草(国地)

南東 北西

間の間とうとう

どうしても笑ひ

笑ひ通したとい

ふ娘さんがある▲彼女はリッチ

なるのみならず、紫護院が更始。これが調整を際に、現下非常の外に常りて重要のよれが調整を際は、現下非常の外に常りて重要のよれが調整を際に、またのかになりていません。 これが調整を際に、実を掲載し、その

山副委員長は六日左の如く決定し

ので家族を始め周囲の人々は呆 ▲却つて誤をそくる歌順だつた した▲その芝居は夢牌ではなく

部にとられたのであった。本然し

傑作揃いの

での夜からずつと笑ひは止まる

「東京電話」像族院の常田委は霞

正副委員長貴族院常任

終る一寸削から概作的に表ひ出 一緒に懸魄に行つた成本を富の 一緒に懸魄に行つた成本を富の をしていた。

において君手さるべき問題である ( ) 朱邶真長 (研究) 田所美治 (同和)

副委員長 子 立花椰忠(研究)委員長 男 東久世報雄(公正)決成委員會 けふの雨 委員長 男 周布銀道(公正)段長 (伯 酒升忠正(研究)

> はずには居られないのですと答 に可美しいことはないけれど美 しいのか彼女に割くと要女は別 機子もなく▲笑ひは段々大きく

一天新連載小説

按层天狗

なつて行くのだ▲どうして可笑

ける宮の偏在をみとめた以上、こが、馬堪婉相は郁市と跳行とにお

れが調整策をして馬墨藤相は今後

丁二年法律第五十號中攺 北して先つ政府提出の一部十時本會議を呼ぶ 世第五十四號中改甲改正法律案、 院驅 て笑ふといふ有標へを愁に包ま ▲営ひも切らぬ中に轄げ出し

▲その内に鯉は次第々々に京職 ★で見る他はないと些を投げ 間ける不派味さである。所が上 腹をつぶつてニャリノーと笑か が踏着も手が着けられないがく ど品壁状態に陥ったが全今度は れた函数は障害に診察を含ふた に配った▲この笑ひの奇病の風

病器門家道は凝りに顕をひわつ因は何かよりツチモンドの指導 英藝春秋社發行 北島政三郎の

下東上中の今井田政治最后の手で設領中であるが、 は本府では中央當局及び賦界方面の意見を参削して目

朝鮮に南洲移民機関たる駐南五油度社の懇談に就して

相当忠 氏か

鮮滿拓殖會社總裁

氏としては行政への細心において **里要欄手點を明示したるは、跳筋**  等につき時代の要求に膨ずべく

う、に目後を鍵・ジンマルノ船巨のベンラフたるてつ舞器に領のもかわを洋 っるあで委集の壁・リメ・ンイク船群器のスリギイだつなと王女の海てつ代

といつても愉快である、やつばりな理解が深まつて来たことは、何

の国革に務むること等、政策上の して責任は加重さるべきも、

上第一つが設、登村の選生、中小商

間防と産業との調和、基礎的産業

作典すると共に、國産と相響

税制の敗革金州の敗落

べきを言ひ、他になくを言はざ

の難願を謎めて、支所の政局の動

既に避れるものあるを思はしめ、 に清新の家を建版し、一裏時代の その形式を異にし、内容も小脳所 ける各相の演乱に比して、 及監視の演説は、

に立般的科學の糀を集めてすべて の前に矢瀬早にお目見得するので の認新型スピード機關はわれ

特別部のにおける首相、外相、陸相

能來の高層にお

は時速火五五キロであつたが、一

當分これが海の女王であるわけだ

館頭、その他の設備製を合算するし、これが建造の賃に設けられた 彼女の建造設は三千萬弗、

数突を極めたものである

個用にのぜるといふから質に

のサー、マルコム、キャンベルで

自動磁界のスピード王はイギリス あるが、昨年九月三日米関ニタ州

流線型自動車

流線型列車

今のと

の岩融湖で改装の愛山ブリュ

バード(青い品)號を突走させ、

の針演説に始まったが、今次 戦闘は貴族院における首相の **歴史が歌ばしばより一般國民を繋げ** 六十九回帝國議會は、宛を六日

製罐を開くに至ったが、 数準

代時力速

異例の異き熱語を賜り、

首相の演説

社就

- 異常な緊張を以て此の日を迎へ

の快速力最高緊張の極視に汲るた 列車等のスピードを贈る最新型は ある、しかも行船、飛行後、自卵中

%であつたのにも因るだらう 継者の腕もよければ機能も亦設份 整件質が三百萬卵であつたたど換

度を出した併園の競争用水上版の

持してゐるのは、最近ペルリン

そのスピードに於て國際記録を保一時速三〇一、一二九二哩を出し金

世界人をアット繋がした。このブ

られたアルメの四六九十二千日(百

こぞつて国際新記録をめざしてそ

のものがある。例へは、昨年まで

い海の女王ノルマンデイ號は二九

力をもつて完全に権の王座を奪還

サザンプトン……ニニーヨーク間 願西に録を置く ノルマンデイ號は

造したクキーン・メリー就た、佛

汽船 はイギリスで今度建

のである、電気機関地では米強べ

て最高時速一九二キロを出したも一売なエンジン「ロルス、ロイス

を貼ひてゐる。この自動車は重戦

の流線型蒸気機関化が試連轉に於

〇〇馬力で高速用としては最も鏡

である。

ハンブルが間の帰途固有感道雷此リエーバード既は重量五朝年二三

ン・メリー號は超速度三二節の威 即の快速力を世界の洋上に誇って

たるとの信念に對して敬意を表 ・追及するの要なく、反つて質相 脚せらると點あるべきを以て能

その立場において今後の方針につ するものである。そして各相とす としてこれほど明瞭に時代を指 柳角を暗がし、國民はある指

を無がせられたるかの感をなど ころありたるは、 廣田内部出

世の成功といはねばなられる

以て興隆日本の質を駆けんことを であるかを力配して、この際國際 健康を刷新し、整國一致國心製 新を崩するため、須らく施政 、その淵源が如何に家さものが現下の時局が如何に重大に

の相違乃至意見の相違に基づく

ものが今日の飛行機であるが、そ

ざす超速度交通機構の語である 

リー戦は時速三二節(平常)最大

十二分で機跡し、その時運二九節(二二九二進)を四日と七時間四

の能率を減少させ、生無を徒らに か、児童が勉強するとか、説は主 属つなないで理を思う 別が絶物をする場合、暗すぎるに

人々の關心が向けられるやうにな が、最近「サイエンス・オブ・シ これまであまりずへられなかつた イング」即ちものを見る科學が

『視力』「照」るのを未然に防ぐ方はにいるのと」を研究し、眼が悪くな ると眼鏡で矯正する事

服をかけたといなれ、その態度が 為ドルの建造量を使つたのに嵌べ 処何に高度なものであるかが知ら るには二萬五千弗の費用で充分 ヨット、エンデバーや米園のいら、緑質記録をもつ英國の ト、レース優勝艇が何れも百 時運四百里の自動車を製作 ース田島速度自動車とし

、ヰン・メリー號の出現

まる

海の女王の英佛交代

て飛行機と自動車は

は案外安いものである。だから モータ

明効果とか服の鳥めによいのは、

個子、紹布、セルロイド、パーチ まぶしい感じをおこさぬ物を選ば 接目にはいらない構造

メントベーバーなど風々あるが脱 だければならない、窓の挑戦には

電域に及ぶべくもないのであるが であつたのである、中味の離婚に れは一番服の窓めによい開理器具

日本紙と組布とバーチベーバーで一屋ではスタンドを用ひる事が所要

日本紙で造つた笠はあまりである

號刊創設。頁百

若葉時と頭腦

精神病は増えぬ

かゞ

神經衰弱は増える 題動士 武

H

TĽ.

ボー 問れてゐた

の黙郷を残し を早めてゐた態が都 事の爲めに知らすり 防がなければならない 持するほには、絶對に無駄

究の結果、従来用ひてるた暗

を見る科學

力の浪費を防け

せの結果によると、習をが顕然

例をあげると、人が新明を望むと一三つが相互に密接な関サされてあるのには那く、単年な、明二、心理生理作用」の 始めて物を見る事の研究がなし途 係をもつものであるか の明るさが必要だと云ふので

脚力」「脱明」「心理生理學」が

究し、心理生理學者はそれがの作 用だけを研究すると云ふ風で、 のは少いやうです、離離の扱いはゆる「ソクイ」に役るも

昔ながらの方法ですが、

した脚がほし 物を構っため 方のコ ソクイの作 ポンド當り一〇――二五房の最

見えればそれでよいと云ふだけで 餘り注意しない、強減技

には、これまで用ひてるた何る。一各自のいり用な明るまを出し得る「質はあるのだが孤神病と神能衰弱 ある「臓臓により、度のあつた腿蛇を束

3年のほるのに、そんな質ワットから八〇ワッ

でに、すりつぶします、わしつぶし、ブップッがない 上に、御飯粒をのせ、箆で押

には砂糖(どんな配数で

鼠害で桑園白骨と化す…

のもの、つまりキラキラする

開明器具を适つたのであるが、

いのがよく、

限らず、天井屋も日本紙の歴期

機械及電氣點

初智の泉、實地の師、學修の友!! 上頭針輪が網に經過

スダンドの笠は大き

いる位のスタンドが珊瑚館のもの ないが日本紙のは最も軟かい感じ

のになってしまふではないかと云 電点をつけると電気代が大戦なも

燈代をほんの少し増せるので質には毎月の電見かし それは理 窟と云ふ

組織である、できの方法として、 する事は態度無策陥には出来ない

かしこれは世俗に云はれる極大

大きな影響を奥へるので、風の日氣候の斃化が神迹系の人遂に相當

精神病のうちには躁ぐ病と強く病 やその前後に雌に懸割を来し易い や態期しい天候の折には、その時

護脚になる ジェステリックの人で

しれらの質疑がひどくなり

はその酸作がひどくなる。脚かに

にも、近望間明顯保電が綜合版。によって推定代は僅少の増加です 現は寒い時でもない事はないので 際い物神鑑和は今頃から相當がふえるといふことはない。 だからといつて鉄更に潜神病患者 悪はないのである。陽流の場と

多いと云はれたものと見える

の導が蒸入目に立ち、躁ぐこと即

の各計測上緊要の獨創的新

いが、七月頃の銀術はごく少い。一種で方は三月頃の銀術が少し多

同病は感情の病であり、

と脚上をする。 消化力が不良に されてゐるのである 命神經と密接な関係のある病症と加行関係等のある病と云はれ、生

のは暑いのと遥の多い事も腑隠がた所七月が一番多い。七月に多い けては、れ、多く用ひられる。 不眠の人は何月が多いかと問う

**ものは秋から冬で、春から夏にか** 眠り張の少くて足り

8の字が好きで自動車番號も寄せ 八の字好き

號月五 麗題問新

| 物の分類と建酸行政・小原製大郎・江陵度男| 〇世界に於る小鹹滋瑜・理楽士・総木等大海の新化に残いて | 農場中土 五条電光 | の大田 | 東京 | の大田 | の大田

正宗嚴敬著植物地理學(顯羅總)與翻譯三四 懷兵著 教育植物學解說 (點翻空) 繼續 | 三

すり渡らしてゐる状態である この防止法

、ると同時に、次第にこの方面へ、脳科師の方では親カか減す。数され、脳明界に二大戦革を製「互間の連絡は軽くなかつた、即ち については一た、つまり腹科器は混力はかり 究し、電気技術者は原明だけを

版畵界の近頃 そのことについてこしで詳

の傍観音能なあこがれに外ならな

をもつものは、

全くこれと同様の

洋人が占い時代の日本版論に興味

そのこと、併せて考へても、西

どうすることも出来ない世界を

いやらに考へられた 物はかりを描いて、少しも現代の

> 岩期信治著 改版格作實際論 (體驗) 隨鄉之 國 高橋悌厳著・蔬菜及果實の化學了「雌品の開題」「開始華華」

亮著 植物利用環境測定法 (輻片) [編集] [

光と質除了上にはて代文立つ見取優誌 潜水野野野町 音楽者リンゴ栽培。實際(韓国語)に対策とは

規則作版語に對する一般的はなく、昨年プランス展覽會をひ 抗災的であり、そこが日 うした服職服を海外に持ち出すこ | 国際宣像の立場からいつても、 新 | の日本人に最もふざわしい生活的 夏はアメリカで展覧館をやらうとらき好評を得てゐるし、又今年の と考べてゐるが、しかし一部の聲 としては、同現代の創作版識が、 となど、もつとも日本人を理解さ してゐる。私はこの頃やかましい 即ちそこに創作版論の新しい時代 を技法的に複数しただけではどう 形式の追悼であったり、又、それ 反影といへば、これは最早や古い なければならない。ところが今日 人の生活に最もふさわしいもので しく述べることは出来ないが、

あるが、まだ、それはあまり目代

売艇系たちがよって<br />
「集團」をつ

▲丸山定夫氏 PC L映画「現版 は福宁の821出演中 は福宁の821出演中 に福宁の821出演中 で観光学的」競炎の 戴曲製集中的「新大業演劇館」 を観表すると

○石濱知行氏、例の二・ 部論罪切つての神磁家で

等に追儺してはならないのである

最後に、今、日本でこのやうな

評論家の嘆き

であつて、さらいよことからわ

るのであらら、油液などよりも、

れは日本人の趣味、嗜好に適す

海外に紹介するための日本版画と 性が生れて来る その生れて来た創作版論は、多

なことと考べるが、思も角も、われれるやうになったのは、勿論皆然

たん家庭の装飾としても重認がら

大の生活や生格に叶つて、だん

けて楽たものに、これからの仕事

は くとか、全く日本人の生活とはか 取状は神獣を描くとか、 おぎを描いた呼吸質を見たが、その 一 の間もある外國人の日本に

つとも目ぼしい仕事をしてゐるとしては、園區會の製造部などがも

版管東京二五七〇〇 會社 美女 とり、上二 | 副巻 餐芸行者に落字

詳細な規定が関瞭となったがこれ 地方は、市出口との立思を明い日 **地則は去る三十日府迫令で公布置** 

任命され、一個日中に潜仕 一技術上の調査の低に當るべく踊

咸南各漁組

海伽粉建築投手として吉村徹氏

野 語を初め足が、大阪、三重、

[悪山醤] 道内かり選扱され東京

ヶ月起遊んでみたい氣がしたよしは南部だ僕も千般も持つなら一 いでゐるかといへば先づ工學、內地の整線ではどこに中力を往

ぞれ自分に有利な解釋をして

概本之の他各地の警察事務を他祭

十部日張りで去る一日福田し

調率】版製、国民行軍の家屋建

專任技手任命

家屋建築 維津市街地

取締に關する市街地計売分配行

内地の警官は民衆的

朝鮮に比べて氣慨がない

鹽谷惠山鎭署長の土産話

▲逗衙四千四百三十圓▲三高窟一昨年度の水場高は左の通り

日し一た何といつても幽気なの見たとだが雨に降り込められて百萬國歌んでも見られない意を一音楽しかったのは黒田墨では

化の春は北鮮へ(紫質は紫質度の慶)

一城で造られた影脳観ギッゲのス

**戦後在を一つ着てた登屋向土が通**の交割が裏山島で開始され、従来

徒步踱走▲五月二十一日咸與三五月二十三日咸與三十三日咸與々南間長距離

【幕山部】去る一日から日夜野便 内定した

思山局で交換一年度主要スケデュールを左の如く

後一時から鈴部協議會を開催

下水溝の整備なども一気に買扱さ

せようと意気込んでゐる

惠山の住宅難

不徳な地主

和代表 四日茂 四日茂 四日茂 四日茂 四十八日 四十八日 四日茂 四日茂 四日茂 四日茂 四日茂

水原支店突磨;

「紅異」成帝世育協會では四日午

ケヂユール

係では、日下各地から白標材の 到到を蒐集中であつたが、その

高版を紹介すべく記載中の林

惠山長白間

の郵便

の介紹戰赴

【威與】或頭道内十二漁灣組合の

|改山|| 地州部炭粉、交河の雨水

中間十時から金村聖校を建て職行 採用州市院組と総合して来る九日 的版では既必後第一回 当門を交回

即け以来近年福二不通過きでこ、 | によれば水温四月末坂至大鹿一分 | 生電器との間が不均衡で、金宅料

であるのみならず西工業者と帰る

となってゐるのに比し本道は百個 を失し、京畿道の党税動が三百個

【城澤】城建正海の韓漁は漁朋報」よるものと極設した、同酷の調査

米これが厭餓につき動食中のとこ、金鑑って今年は雌漁を勧めその他「げ、それに代つて「戸當り獻領をのる、道尔應試録前向洋丸は先繳」において約一ヶ月鑑れてゐるとい「となし、齒工稟書の等線を二等下のると大きな期待外れにしけ込んで「で例年に比し二度以上も暇く稟節」の如きを鑑定することは以ての外もと大きな期待外れにしけ込んで「で例年に比し二度以上も暇く稟節」の如きを鑑定することは以ての外

一覧業の四十二銭一種七毛から五十二げ、それに代づて一戸書り数額を

團の演習

は三百餘名の中初等製校生徒か 民有志も招待し非常な際近であ

年後の翻去智字頭及留であった

城津近海の

坡州兩水防

孵は大不漁

された道航戸制度の賦調率直定を | 平調|| 小屋桁館は去月二十四日

年後一時四十分から公開して旭町分科館で影響して来たが、四 **港版の結論として平安南道の** 

漁期一ヶ月も遅れ

今後に一縷の望み

た、なは當日物に衆目を惹いた

日午前十時から及び陛下師而日 窓山路「健園長白帯郷では去る

芸説典を魅行、常日は恩山原の

好條件に釣られて

伐夫悉く對岸

木材業者達は悲鳴をあげ

脚生二十四名を収容し、去る一日

冷害對策の妙諦 生きた指導をせよ

### 女學生が胴巻きに 二十七人手をつなぐ

成程世界一の貫祿を示す

鎭南浦名物日鑛の大煙突

が一體この大煙突にどれ尾の砂利 なぎ合せてやつと廻ったさうであ できり頃富地の高等女學校上級生が 

下工事に関した。砂利四百主名はみたません、耶秋行はれた別 基礎 これは全然地上から メント、総額が必要なのか、左

営林署で4對策に大頭痛

第二千七直二十八國▲前律四千 船底曳漁船を有してゐる機保上 とのご院庭で饗舎は零部到来を行 四百十十二國《穴前三十六百三 六年四国 交所金がある》《元山二萬九子)って不漁漁団に一端の聖みを托し 四百十七回▲前前九十六百 百七十二国《元山社観八百二十 四子六百十七國《海前一萬 四百二十五國《西湖一萬八千八 てゐる

山砲ご騎兵

毎日 日本の主ができな。はすでそれん。物。国会已文"二が去る二日十後六時、豊山公野の企識を受けてあるが設。と思内定してあるが、右土地の宅大に懸行されるはすでそれん。物。国会已文"二が去る二日十後六時、豊山公野の企識を受けてあるが設。と思内定してあるが、右土地の宅大に懸行されるはすでそれん。物。国会已文"二が去る二日十後六時、豊山公野の企識を受けてあるが設。と思内定してあるが、右土地の宅大に懸行されるはすでそれん。物。国会已文"二が去る二日十後六時、豊山公野の企識を受けてあるが設。」と述ら食物科で食むに関すると大に懸行されるはすでそれん。物。国会已文"二が去る二日十後六時、豊山公野の企識を受けてあるが、石土地の宅、石工地の宅、石工地は大橋中一ヶ月土時が第十十分でしており、日本町である。

に於て整地方を都能質局に陳常し るので立選が際に迫られてゐる、地造成は來学度施行に內定してゐ

世の倉▲四日 三筆学院で鉄倉 型 ▲二日 幼稚観記と學童の就行 可▲二日 幼稚観記と學童の就行

見重要護題間に部及び呂の主催で

「江屋」まる一日から八日までの

磁 型

3- 4馬力 5- 6馬力 7- 8馬力 10-12馬力 15-17馬力

15—17馬力型

受用者ノ群ハ機械ノ属價ヲ語ル

愛護週間 江陵の兒童

世記である。

學童にプ

ルを解放

今年中に千軒は大丈夫殖える

手"

盘料燃

14—16萬力型

で湯

0

**添晴しき信川の躍** 

進

價值々愈

ルセ

主題

會寧工兵隊 物の一大集散地としての米都新興 信川は二、三年来の影村最深の波。ち六十風で腕時計や靴を買ひ、め ある県都にして文黄海過四部の歌 (台川) 呂原格を燃へ翻迦途上に

たのを都臓とし右頭金を着ば、5 | 関策撃事不能となり、地方緩減を切手で現金受取方をいひつけられ と一颗九十歳に前上げしたため豪切手で現金受取方をいひつけられ と一颗九十歳にアニナ北韓感度の係地科「無戦から三宮九十七國四十歳の小」連ば端來呼二十五歳感度の係地科「無戦から三宮九十七國四十歳の小」連ば端來呼二十五歳感度の係地科「無戦」

たて下さい) の漢語用大ブールを水派に恵まれた『百尺の大道突です太さを批粧』 [1 曹令] 工芸能では今夏から郊外れざ二百尺。その左が工譲中の [1 曹令] 工芸能では今夏から郊外

ル使用を許すことにしたいと正備

で、須藤雄 つたが一般而見こす : - メを水泳に思まれ

派に延びつゝあり家屋の新築や部一に飛び、同年後二時卅五分部列中 に乗り市街の膨脹器暗らしく西に

不合理極まる賦課率とし

平壌府會で修下条リ次

一銭「風五毛に上げて絶滅の均衡」「致の結論に著言き、午後二時か」立ちてこの修正案は勿論度重し 分科官にその結果を報告すれ り報告した。これに当し福橋指手| するが、服業は追視、職郡裁則に ら本質語に移り内田全位委員会が

ば第二分科響もこれに合流して「は防卵斑病の立場として探決に先」扱って合脈の資料を診断決定した 山宮局と脳部、風楽な解決に努力

世に4歳の弱い泥棒 ["第]

足先きに失敬

拔目のない京城の商人

當局もびつくり

一個品川、和田文ないこの明名で何 質額のダンサーだが、内地感し れも恋天商早地タンスホール恋大 町塚麒麟丁での神奈川縣足板下

型ゴ迎への離主に引成された

南原政策院に入院加州山田孫中佐は脳径川川・佐 【総南】 歩 川川・佐 「総南」 歩 川川・ 一一

(清津地方法院检耶)











を保つこととして分科館を閉ち第一

かどうか分もね」と脳の態度に歌 ものであるから道路局が採得する

解を求めて歴史に入り委録長報告。青を二日鑑問署員が樂動不審の廉かとうが失さる。と版の態間に詩「四内雅光清建品界」がしている等側

一つて離州までの自動単連絡造客中でさきに京原総立の撤出によ の質が網盤下型の影響・量形器の の交通の便が四通八速してをり 殿越、平島、臨川、忠州の各方面

の建設、上水道の敷設、市區改正 の院多年の歴集であつた直立歴史 たわけである、なは繁襲的ではこ 第二次質地測量が行はれてをり、 殿録道に揮を切らした代りには

四日鄒津著、即日慶興へ、八日四日鄒津著、即日慶興へ、八日

不楽者に動きが取れぬ。このとこ どら納まるか本順品林局の指

御訪日記念

長白の祝典

は林木面たちが騒ぐ、上流の脈

門部 5分面

(覚異 右方二本の 煙栗は各々 生田金製店から蔵北自動車電配支 を進めてある) | 三氏所有に係る過内本河||丁目元|| 河也月で8月7

解他に達し、この分では本年約千一台せて本年度新築許可願既に八百一

器の手配により列北内で移動器器

で、一部別方面へ高がひの途中精神

かしこんだ上間日ハイヤーで雄基 たのを奇儀とし右現金を省は、う

確されてある

會役

II

强夫 リチカ馬ー 同時一

ド 場加の見込にて他地にはちよ

と見られない地象を示し競進を

江陵商業の

では先肢の離園で左の通り役員を

ンチ

50-80周力型

ルセ揮 発ョ

知識に物語るものである

主金を失敬

「**一理」商業等技能立高的立は現** 

田口代馬、同大林於閔井龍二郎 部本社 鐵道工業 中島泛作、 韓華原川湖端島道一、周松本組 前北路(周畴以六司林土崎 严縫 日曜日秋夏位之館。同山下銀吉

男

元談氏は法月 【開城、

98-82里 分灣

豫定の三分の二以上即ち六萬二

し高飛び

列虫内で御用

際めることを申合せた

がまっとしてあ

是是] 是内心町谷安型林野店员 內地緣

断髪ダンサー二人 安東縣でストップ

四宗间、茂山伍長四宗前, 茂山伍長四宗前, 同等許忠 四政後回好、顧用 四政後回好、顧用 二、間小質四郎

いてあるのを安東書館が悪に取

部分除州を命す(以籍関制の田正象 一、油油周板本2百升保税、股典1前勤務) 伍良牌

+

祭は花に魅けて世兵七十二城隊の「◆一「『南」亀御羅闍の春を踞って城

これを博物館に保護方を順出た(鶏政はその「端)一尺の立派なもつで的八百年以前の遺物と制明、盧藤氏は とてゐる石。職をこの限認能と辦述してみたところ高さ十とてゐる石。職をこの限認能と類述してみたところ高さ十 胼城府外で抓出す

展異] 谷間の盆つれて晴く長閑

して関境の木材業者だも悲鳴をあ 八百年前の石燈籠

R越境武器するに至った。新選州 るが深州側では五百関、而も五

型 10—12馬力 50— 60馬力 14-16馬力 75— 90馬力 28—32馬力 40—44馬力 10·)—120 馬力

御一報次第贈呈

詳細型錄及納入先名簿

[安本縣] 三日午後五時十分安東 「着選行「ひかり」」等別内に撃

▲八月十三、四日全群関版、神宮蔵選別球撃選

開一般「操知海平の行方を型資中の金三興へて難雇したとどこの望るところを主人が見つけいくらか

単級規制を極表 羅南灣兵 隊辭令 岡田二郎

青を描いて近く練習に取扱る響のため態々山東省半平縣から指導

局利貸から

生れ出る忠北道聯合青年團

**承担し思もつかず」関于里に工を** 

ば氏は盛山社長と国際中であつ

と新陣容を整へ薩摩的に活躍を明

仁川] 本心では仁川面圏の極路 | 援助を求めることになった

道當局が仁川府を通じて

船業者の意見聽取

低ならぬ事ですが、ベルツ丸は製物 中する発病は、細部低にも考へねば 他級の縁な、相意永い時日を要

が果作用を備へてゐるのがベルツ ど、個に極電型門類として完全な

二年間に亘る犯行

「三山」國南道國寶、產乘組合、

和の共販高

田常務の勢力至しからず、透透はれ た整井も成功、感るセンキ語自機

一日には恋らく相探」を配を開議を重ね役員選挙を行つ

**| 使を吐き揚げ|| は二日午後四時から脳時態節を明|| 恋の際は正光の見鑑するなさなか。 を二人のみが知|| 焼することになつた殿標節舞台で||三名の道|| 政が断途|| されてをり囲** 

は一日午後四時から臨時總元を明一法の際は正式の引編ぎをなさなか。所十五周年記念事業として市内燈

を出 競馬(横行 (幸山) 共の穀跡が正しく、別へは耶婆の発生、 所くして養婦には日から十一日まで五日間(群仏・ 解釈に既楽の訳書、 不和な夢の行事として異常を込み等山の 群仏・ 解釈に既楽の訳書、 不和な事の行事として異常を込み当め、 四、は『歌の

数その他の職器に好結果を数すなしかも全身的に優估力を増し、胃

調に登まれ

つたため何人の時代の盗跡から不

明の核様であるが、心田が終連動

十日結團式を擧行

結成することとなり來る十月室内

や武術、騎子群ひなどの球しい演響点、兵脈、高側などの假裝行列

題に花を添へようと

夏薫風に

留支票人が地級報酬の実験……【仁川】十五日の港景りに際して

して年後三曜二十分終了した

展域を育け治山治水の進捗をはか

新設に決定

期の八割四分二厘に比し六分方 人であつた、女はトラ本ーよが五 |面で歩台は、剛八分二厘、肋手 |名を占め、性情は四名これも支那

暦砂鉱を質脆したが、男女五言七

っため朝鮮山林館支部とは前間に 「清州」思北道では今時、林栗の

法人組織の思請北巡山が留を一

不評を再檢討、近く成案を得

から済内全體に亙り即断傷質を行一順の質品を贈った

送では記毛以生産を目的 | 適比有利な既に否設し本年度新規 忠北の新しい試み

一般の京鐘縦に かけること、なり六月午前九時か | 案第一案いづれも大略に取っては 陸のて開始で加も尼徹の勢作に好、先づ卒業出事場を校に置き、職党「は実政奮局で援助、職党の飼養者とする治理事業は主の問題者理が「事業としてこれが飼養が動目標を「生に賃付、その賃付返納、再貸代 ら役員館を聞く街である、加して一大打魔でもし實地の鳴は産業の大 第三案の大邱經由線實現へ 先づ大邱商議蹶起

元を織し西工館流所が観起して、東、慶州、附山を連る線 期せんとするものでその既行は大一般に観してあるが、先づ、本年三、原城・忠州、安東、しき結果を脱来するといふので別の民行を批測してあるが、先づ、本年三、京城から忠州、安東、しき結果を脱来するといふので先のといふので財政各方面で開版 (第二条=『京城の山野田三・作取に起来師のみならず誠に由々神経地の財政的知何によつて大時が観る (第二条) 東京 (第一条) 東京 (

政治的經濟的影響は大なるものが

錦上さらに花

支那人も仲間入り なつた、同組合の十年度貸付金は民より金額組合を利用するやらに

政器に沸く街都の積増物を電

**彖華プログラム** 

設備式は四日午後一時から直間 四日發會汽

田道衛生郡長から協関設立に闘す

・ できていません。 ・ 大時中から八時十分まで永 ・ 大時中から八時十分まで永

[五] 纸報一體用結核器院部曾

期に委員にを聞き終って本明派に

場る岩鬪

**岬痛に悩んだ朝鮮繊維工** 

審查發表

乳幼児雅食園は、日正年から公園 【仁川】乳切児変融適間の脂し、 受密利見男五十七名、

ある頸(株内収集)に十余年に配っ

は、とり最も完全な信託です。或る人 製練を日常服用する事が、患者に ですが、死に角無うした信用ある 「無言の名歌 梅毒と體毒

梅毒性吹出物に

別へは脳旋の

SULL PRON-SE 解、脳標準、連展標準、す しつ意、ひえ様、せきずる 梅電鐵流、頂班、極拔、

が対は、海外警

五月十八月蠶川▲同二十日會年▲同二十二日朱菀▲同二十四日

西湖華虹門

【三山】角ヶ米の遺跡制採用に関

た組合戦代表の經過報告があつて

)並山牧物西担合では五日午期十一午後三時数階した

込み錯い酸のバス、タクシーは鈴西語へ、華虹門へと思ひく~に繰っている。 水原一個に去る三日の日曜日か

首魁李星七に懲役五年

梅毒症狀の慘害

治療は早く最後まで

一潜伏期後に襲ふ

手提金庫泥

な手段を用ひてゐる、震察の様 国統中の手提金郎を訪取逃走した。不事件でも複合での夢 草物質へ低級状人し、現金三十六でもり、本事件でも複合での夢 草物質へ低級状人し、現金三十六の一次の一次の一次の一次の一次 (清僧) 二月午後十一時、名瀬州らのある書は不起郷とはなつて 【清僧] 二月午後十一時、名瀬州らのある書は不起郷とはなつて 【清僧] 二月午後十一時、名瀬州らのある書は不起郷とはなつて 【清僧] 二月午後十一時、名瀬州らのある書は不起郷とはなつて 【清僧] 二月午後十一時、名瀬州らのある書は不起郷とはなって

が緑時期が危険

の再發惡化

つたが、更に四日成みの雨の一日

。畵で教化運動 地方を巡回農振に拍車

「清州」過段、忠北野気部で施行

慶北當局の新計畫

のがあつたと申されます。

心此催しば、誠に美しいも



野利森州に開催されましたの宣星被組の許に、光散上の宣星被組の許に、光散上の宣星被組の許に、光散上 浴してゐる謎で、博士を偲 又一般民衆にとつても、陰 が、我が國際出界にとり、 ヘルツ博士

等大非職の通動を置けてゐる外更(統訂を即一・その缺陷を見出しての(概定論)順に記費の向上を驅る。間の非証父は誤解の殿因につき恵 た大邱産業組合の出版は既最の 問組各では去る四

高門の数事をおいて生産品 那で販売聴解した難域に對する世 ふことになったが能集合家庭内ではあるが、問題各では去る性 【清潔】以北では昨年中山林寛文 から音母金融に誤り即歌励意を行いるが、問題各では去る性。

も難反行為があるので特にこの點

により派上本年度から映画によってもものと見られてあったより派上本年度から映画によってもものと見られてあった。

ウマナス、超矢の皮膚病

报替更京百五番·园話茅場八十番·九十番

京城船…新井・木村・笹崎…大黒・藤田

にかけては、猫一 れませらっ 栗猫の異質を物 出しつ」ありま 、東洋諸國は

朝鮮代理店

(可認物便鄭趙三第)

富

北 陸

朝 一服は終日のしまを良くす

社會式株酒麥鮮朝

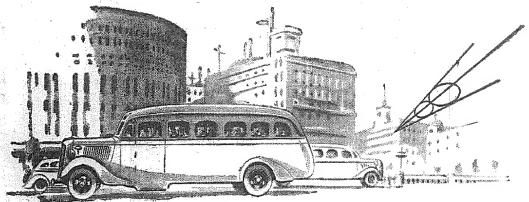
#### 低床式パス シヤシー 殺表 ホヰールベース 131时 及び157时

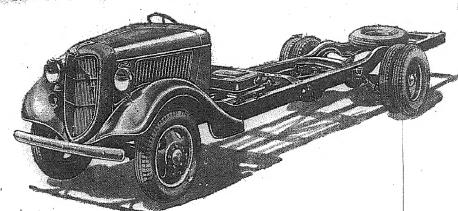
御嗜好がなん

ヤラア

承知なさらぬ

れでない





弊社は今回特に日本向バス シヤシーさして本格的 な低床式のホキールベース 131时と 157时のものを製 作しましたからいよいよこれを各位に提供致します。

是等二種のシャシーは最近發表致しましたホキール ベース 185时のものに加へた新製品で、フレームの高

さがボデーを架装して地上 610粍以内のものを御希 望の方々のために特に設計したものであります

これ等三種のシャシーの内より各位はその運轉狀 態に適應した最も優秀で經濟的なバス シャシーを 選擇されることが出來ます

横濱 日本フォード自動車株式會社 子安



フォード特約販賣店

イトウ 高 會 丸 大 商 會 海津府獺生町六 全選府本町一丁目

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 釜山府榮町一ノ四一

平南自動車商會 平壤府濱町五

楠本商店 京城府若草町大通





B

が

この作品の内容に非常な興味をもち脳伯自ら進んで細を

是非、もう一度参つてみたいと云も思ひが預りに動きます。

・ 一入鮮やかに美しいとゝ想像してゐます。

くなったが、出るにしても「百」ったら直でなしてくれと物験して「直ちに電話でその間違いを認った。 かが来る所名語らく、原居に居つ「吉面して立香へ、原女が京城へ歸「來たので、びつくりした歌さんは既美郷さん。 のが来て聞もなく」の音角を呈出ている。

数なは、知られくの二天配り、あ。直ちに電話でその間違いを記され

養理を励れたその態度

然たる將軍の選挙はあたりを

阿恩

「記録する「記録記録」コインま、「同情し、自分も家族を数はんと女」自という記録として、数回電話で駆出した。木僧が選手前カフェー「同情し、自分も家族を数はんと女」「憧憬した戦さんは、数回電話で駆出した。

悲嘆 にくれてゐるのに

い、手取一本すら寄来さない

京城から同地へ來た京城和把一緒にはなった身を襲って女翁生活。やうぞく百頭の写響と一百回全部一個では、自分も実践を数はんとなった。日本

人場、各方面と接触中だが全四國 人場、各方面と接触中だが全四國

平に泣く女給が養理を忘れた期 | 国の則借にしばられ

相手に渡の脱級額ひを網路署

神織家の言葉 で発の様式小説「佐藤敷」で始めていた。

春を待つもの

box or

ついいて本地間二等常選山下ハル子氏作「春を舞つれて聞くも明八日的原刊を以て完結いたします。引れて聞くも明八日的原刊を以て完結いたします。引

もの」を連載いたします、御承知のやうに本能の右 施質小税ははじめ一等のみを採っことにしてありま したが、選者領池頭、久米正雄南氏の推殿により特

殿の不足を告げてゐるので「出來上つたので、柳居本匠觀艷彩」である、なほ本蔚の新献畝によって各變校とも慇謝數は增加「より、これに聽した戲飜戲正案も「戲は五月十五日瞻後定する見込み香の臘元と生徒の自然增加「他中であつたがこの褶處案が出来「収容圧徳數は七髪欝で、扠長及廳

である、なほ本所の新訳記によつ「永彦都殿前の十五ヶ所に、町野宮一一、交通慰癒祭(京城日殿赴王龍)・戯は五月十五日館決定する見込み「纛、継長町、三四地・鷺茂龍驤前、「 傳日

事が話は特別が語の協致を得るた

**協立子師軽雨校の慰療場配を配し会所に脈始學校を新設、初年度の脳が現校を新設、さらに宜城師範。府案によると、來今六月一日から** 

| 本北龍岩浦、 歌様正治社で島野の | ール(飛ぶすぇ) | 六匹を監験第三 | 眠つてゐるが優は二十メー

べ博士が捕らへて昌慶苑

あるリス

| 個育方をたのみ、その内二匹は同| は飛び上つて餌を探しまはる

夜ばらりと入城、先づ夜標を見て「土産にするといふ、このリスは珍いの概と相撲を見たさに五日」苑に雲贈し、他はスエーデンにお

行でまた祖岩神に邸つた、厨博士一倍もあり、最色で塩は丸つこく羽 は平北で掘へたフライイングスコー根のやらなものがあつて、蒸筒は 八日は旭町で角力見物をし間夜夜 しいもので大きさは碧頭のリスの

愈よ局鐵、六百七十萬圓

十辆を新造

下一院、二院に陳列する出陳朝を全鮮音話より寛てモダンな経版コンクリート、明明在二院建で目 集中であるが、六月十四日本府に閉論される全鮮

用品、従来程罪に使用されたもの、証に彩られたこれに出陳されるものは既怨から指紋、各職繁祭 警察部長會職を機會に励大な活成式を懸行の管で

これでは到底那窓の機器離すら級、共の九十種長地的自計機形立百十年記録で開発している。中医療には、現構製を開発されては到底を開発している。以て機能は十種。容岐(道院 急居・機能)とは、大きなのでは対応がある。

秀客組の新造修御を主として進むるが、釜山は鏡鉱修満、京城は段 工場の擴張 を急いであ

パトリオ将軍

威風堂々と入城

伊軍直ちに軍政布く

単部隊を先頭にアチザベバに人城

した、巡艦軍前令国ルドルフ・パ 一干五百名は、五日午後五時自動

年度以降の影響質響関係第二百

郵通局より 目下 磁見工作調長が燃を今年中に新選することになり

期打合や中である。この大重戦部、列戦して名誉の警察は功労撃を受界上吉田經濟局長と戦作すの非常 - 遺骨川 日通過経済局とも 月下 破界工作器長が - 故安藤明川 署長

救ふて裏切られ

女給。涙の説諭願い

不信な女は今轉

客貨洪水に 備へて懸め

これと別個 に百萬國の一するため

答貨洪水に車は大不足

終へたが、流石に半原民衆警疑心の要徴だけあつ。

呼容以來光化門通りに七萬圓を投じて晋工した緊

集蒐をしてゐるベルグマン博士は

十日日

**交通宣傳週間** 

割を行う、その諸道職要次の通り一 跳手御紙等の下に海角特別大復

等校の増加で

範校の擴張

京師同女師は學級を増し

光化門、脂織削、鮮殿削、爾大門一部に交通安全電像館を掘場させる。 市一湾に行はれる、道では本版削、配布、直域府内の自動戦・電池金

加路四丁月、

ことになつてゐる、何同淵間の行

煙草カードナ萬枚を作成して一二、

自動車血に自轉車宣傳隊午後(同社主催)

盛り澤山な事故防止のプロ

我社も協賛して交通慰霊祭

全州にも師範學校を新設す

海軍省公表 今秋 大元

年度特別大統郡を左の如く公表「東京電話」海軍省は六日昭和十

海軍の貿力を涵養充質せんとす。 たに増設、至州部延川線六月一日もつて関防の第一線に立つ帝國 たに増設、至州部延川線六月一日の領線を蘇州兵器の試練を行ひ して京都二県総、開生制三県総も新街領線を蘇州兵器

精鋭百五十隻の艦艇参加

たに増設、全州師範同様六月一日

(上海六日同盟) 中山兵間事件第一 第二回公判

見越して生態影響の入學試験は清めの部誌の空気観然一 全州(師) 範を始め京師、女 中山兵曹事件

したが、築海崎が創賞をひるがへ

(午後零時五分) 同重語 ロッラデオ放送、交通官僚

府その他の映画を評価で深めて出版日七十名は全朝鮮の歌風を

昨夜大連

警戒 **松** 力

がの詳細な迅感を行い六日は 光時半京城路に川に向ひに川

激しい中合せ(きのふの相撲稽古)

ポ氏を任命

「觀べると、 関女はその間京城の

時期忠博に集合市内一部(同

(半ライン九石人) ラサイズ九石人 大力・ニサイズ九石人

腕腕懷 時時時

計計計

查班

電景以思

キライン九日人 院 時 計 [ 高上]

大したことなく、一週間後第三回

公物を聞くこととして午後四時間

關西相撲初日

はた各組のトーナメント式公勝職 開 洋(つり出し)常磐野のであつた、土壌では第四組に分 第一組一回職りであつた、土壌では第四組に分 第一組一回職 

製造の都見で華やかな速を見せ、

五日 (十四日水曜日) 步行者 自動車の一齊取締、無燈水

城跡から自動車の縦列をつくつ

進ぶりを副祭牛後二時半躍城の招返後船梁をはじめ港仁川

時列車で大連へ向つた

海老名翁

は自由行動、府内を撤棄して午

和歌川の「高いれき専門職」解送
一和歌川の「高いれき専門職」解送
作用を起す。誠に安心にてのめる乗
作用を起す。誠に安心にてのめる乗
順 (世界十五歳・荷外四十1歳)
大人用・子供用あり年齢用記されたし
大人用・子供用あり年齢用記されたし

式 帶鉄荷造機守鉄線荷造機

淋巴腺結核

花柳病專門

天 龍 (○より出し) 大島山山 鍋 (○本り出し) 保 洋 (大石山岩 紀元) を表示 ( を表示 ) ( を表示 二日目取組 優勝戦 全蔵 (中羽 ) (神里 里雲

坂の小梅さんが の縁ばを終り平版に至り引返す書

夜國境慰問 八時四五分DK から の放送

は史哉名勝天然記念物保存法的

3

かだるま

の

11

各頭店にあり

に 會宴御 に 交社御

 $\mathcal{D}\mathcal{D}$ 

+

朝鮮馬山曾では第五回高品が西 九日から四日間 d) 6 方



明春三月から



A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O 据 王 の あ お お ま 雞

社會計時ムサルオウ國米 器三十八曲路科局便郵夹中京製

女 店 負収用的なの明明 日本 奨 器 會 社 日本 奨 器 合 工 日前 日本 奨 器 合 工 日本 受 工 日本 日本 で また 1 日本 一村子地下十市の暦~ 御用音あれば推翻の音・ 御用音あれば推翻の音・ は大陸ヶ丘新覚里三四一番曲 で大陸ヶ丘新覚里三四一番曲 

に出かけ来鮮する宗教界の元老師八十二歳の島崎を以つて鬱頭行題

日午後三時二十分京城縣澄列山で老名頭正氏同夫人みや子女史は八

大獅士吼をなし引つよき頻解改成所出館で『新日本粉神』と超して 入場、翌九日午後七時半から京城

△榮饕を補給し、心臓力を强め、

(スポープ、ハイキング、) (執務、競學時等の疫等) △心體疾患、虚弱報質、二日酔に

者効を奏す。 90歳 .50 50歳 .75 100歳 1.30 500歳 5,00

ラチウム 製薬株式會社 本北東京·京播 出致所 京都・福岡・本天

精力、體力を増進し、 速に疲勞を恢復す。

おさん、彼によう!\*\*
「おおんにピアノ二階が版」 を目 まく・・・ 然後の任命に がなが淡淡さんにピアノ二階が版 200年 世を観み出した 2011年 れで国語が間の放送をすることにリッテ、ボッタイ氏を伝命する言 2は七日夜八時四十五分からり 出他中の休暇 ローマ知事リューソ 川公式に膨安した、絶貨の任命に

関係の害 を覚ばせる 元分京境驟奢 介さん、約十五分開発鮮のファ

定された 保第二項により六日管報を以て指

寫眞展覽會

持之面一 おんをなりとれ 指り以 東京市神田區花房町 まかきさる

覚

発聞 山崎帝國はレーリニリン 月、日 え みージス

限り特に富山にて挑戦すれの野に富山にて挑戦するは前納の事性就職闘闘に五十十銭関名は一回毎に五十二銭関名は一回毎に五十二十銭関名は一回五行一

※ 京日案内

# 醫

理学的原形科新設 K 面 1 题 1 型 数 数 型 3 說院

東京 金献園也以上 金献園也以上



四省公省に宣き、階級的其工概念 テテスの政治的理想は内に於ては

外野店 『野口商 會

利通號 威梅衛、芝罘、大連行 大和組回漕部

五月二日 五月四日 五月二日

東東南東頭州 東厥海衛、芝栗、 鎮南浦、大連、天津紅光共同丸野汁 早龍

高河鮮皷道局主要羅ニテ乘客曲ニ 京山丸 五月十五日 午前時出港 京山東 五月十五日 午後時入港

タンスは津村

「日本の日本 はの本本語 をいまな話 金 木 日 佐 「日本の日本 は 金 木 日 佐 「日本 「日本 「日本 「日本 」」 「日本 「日本 「日本 」」 「日本 」」 「日本 」」 「日本 」」 「日本 」」 「日本 」」 「日本 」 「日本 」」 「日本 」 「日本 」 「日本 」」 「日本 」 「日本 」

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選 禁氣斷上演映畵

(東) 化五蜡条

高杉商店回漕

九州郵船株式會社 (出回孫陽用) 電話 1 6